

科目区分	専門分野Ⅱ	科目名	精神看護学概論		
開講時間	2年次	単位・時間	1単位・30時間	講師名	看護師
学習目標	1. 精神看護の変遷を知り、精神看護学の概念を理解する。 2. ライフサイクルと精神の発達危機について理解する。 3. 精神看護の対象および看護の目的を理解する。 4. 精神看護におけるリスクマネジメントを理解する。				
授業の内容と方法	回	授業内容			授業形態
	1	1. 妊娠期における看護 1) 妊娠の生理			講義
	2	精神保健の考え方（地域における精神保健活動含）			講義
	3	心のはたらきと人格形成			講義
	4	ライフサイクルとアイデンティティ			講義
	5	無意識と精神分析			講義
	6	精神障害と治療の歴史			講義
	7	精神障害と法制度			講義
	8	3. 産褥期における看護 1) 褥婦の経過			講義
	9	入院治療の意味			講義
	10	精神疾患のあらわれ方			講義
	11	行動制限についての考え方			講義
	12	リスクマネジメントの考え方と方法			講義
	13	回復を支援する			講義
	14	リエゾン精神看護とその活動			講義
15	終講試験				
評価方法	筆記試験 100%				
テキスト	系統看護学講座 精神看護の基礎 《医学書院》 系統看護学講座 精神看護の展開 《医学書院》 国民衛生の動向 《厚生労働統計協会》				
参考文献	精神看護学① 精神看護学概論・精神保健 《メヂカルフレンド社》 精神看護学Ⅰ 精神保健学 第5版 《ヌーヴェルヒロカワ》 精神看護学Ⅱ 精神臨床看護学 第5版 《ヌーヴェルヒロカワ》				
自己学習時間	15時間	事前・事後学習	既習したことを各自復習してから授業に臨む テキストと配布された資料を熟読すること		

科目区分	専門分野Ⅱ	科目名	精神看護援助技法		
開講時間	2年次	単位・時間	1単位・15時間	講師名	看護師
学習目標	1. 精神看護の基本技法を学び、対象理解および援助に必要な働きかけ方を理解する。 2. 精神疾患を持つ患者家族について考え、その援助方法について理解する。				
授業の内容と方法	回	授業内容			授業形態
	1	1. 妊娠期における看護 1) 妊娠の生理			講義
	2	ケアの人間関係とプロセスレコード ①なぜ関係をアセスメントするのか ②プロセスレコードとは ③プロセスレコードの書き方			講義
	3	関係をアセスメントする ～プロセスレコードの活用～			講義
	4	患者 - 看護師関係における感情体験 ①転移・逆転移 ②感情の器になる ③肯定的感情と否定的感情 ④攻撃される ⑤拒否される			講義
	5	全体としての家族Ⅰ ①家族と精神の健康 ②家族の関係性とコミュニケーション			講義
	6	全体としての家族Ⅱ ①家族システムという考え方			講義
	7	人間と集団 ①集団と個人 ②グループの活用 ③全体としてのグループ			講義
	8	3. 産褥期における看護 1) 褥婦の経過			講義
評価方法	筆記試験100%				
テキスト	系統看護学講座 精神看護の基礎 <<医学書院>> 系統看護学講座 精神看護の展開 <<医学書院>>				
参考文献					
自己学習時間	30時間	事前・事後学習	配布資料を熟読・活用する		

科目区分	専門分野Ⅱ	科目名	精神障害のある対象の看護		
開講時間	2年次	単位・時間	1単位・30時間	講師名	看護師
学習目標	1. 診療・検査・治療を受ける対象に必要な看護を理解する。 2. 障害を持ちながら生活する対象に必要な援助方法を理解する。				
授業の内容と方法	回	授業内容			授業形態
	1	1. 妊娠期における看護 1) 妊娠の生理			講義
	2	精神科における身体のケアⅡ 生命の危険を伴う有害反応			講義
	3	2. 身体合併症のアセスメントとケア			講義
	4	3. 日常生活における身体のケア ①足・皮膚のケア ②排便のケア ③口腔ケア ④睡眠とそのケア			講義
	5	4. 診察・検査に伴う看護			講義
	6	5. 薬物療法に伴う看護			講義
	7	6. 電気けいれん療法			講義
	8	3. 産褥期における看護 1) 褥婦の経過			講義 グループワーク
	9	1. 「器」としての地域			講義 グループワーク
	10	2. 地域における生活支援の方法			講義
	11	3. ストレングスモデル、強みについて			講義 グループワーク
	12	4. 地域生活を支えるシステムと社会資源			講義
	13	5. 地域におけるケアの方法と実際			講義
	14	6. 学校・職場におけるメンタルヘルスと看護 7. 災害時のメンタルヘルスと看護			講義 グループワーク
15	終講試験				
評価方法	筆記試験 100%				
テキスト	系統看護学講座 精神看護の展開《医学書院》				
参考文献					
自己学習時間	15時間	事前・事後学習	既習したことを各自復習してから授業に臨む テキストと配布された資料を熟読すること		

\* この科目は実務経験のある教員による授業科目です。

科目区分	専門分野Ⅱ	科目名	精神看護学演習		
開講時間	2年次	単位・時間	1単位・30時間	講師名	専任講師
学習目標	1. 精神に障害を持つ対象のアセスメント・看護診断・目標設定について理解する。 2. プロセスレコードの活用方法を身に付ける。				
授業の内容と方法	回	授業内容			授業形態
	1	1. 妊娠期における看護 1) 妊娠の生理			講義 演習
	2	2. 看護過程展開【統合失調症】Ⅰ ①情報収集の方法 ②アセスメントの視点			講義 演習
	3	看護過程展開【統合失調症】Ⅱ ①事例紹介 ②アセスメントガイド			講義 演習
	4	看護過程展開【統合失調症】Ⅲ ①社会資源の活用 ②家族支援			講義 演習
	5	看護過程展開【統合失調症】Ⅳ ①患者参画型看護計画 ②患者主体型看護計画			講義 演習
	6	看護過程展開【統合失調症】Ⅴ ①全体像			演習
	7	看護過程展開【統合失調症】Ⅵ ①発表 ②まとめ			演習
	8	3. 産褥期における看護 1) 褥婦の経過			講義 演習
	9	4. ロールプレイ			演習
	10	5. 対人関係理論 (ペプロウの理論)			演習
	11	6. 症状に対する看護Ⅰ 希死念慮があるうつ病患者の看護			演習
	12	症状に対する看護Ⅱ 脅迫症状がある患者の看護			演習
	13	7. プロセスレコードⅠ プロセスレコードの分析方法			講義 演習
	14	プロセスレコードⅡ プロセスレコードの分析			演習
15	終講試験				
評価方法	看護過程展開50% 筆記試験50%				
テキスト	系統看護学講座 精神の展開《医学書院》 看護診断ハンドブック《医学書院》 ヘンダーソンゴードンの考え方に基づく実践看護アセスメント《ヌーヴェルヒロカワ》				
参考文献	全人的視点にもとづく精神看護過程《医歯薬出版株式会社》 はじめての精神科看護《メディカ出版》 精神看護 第2版 《照林社》 はじめてのヘンダーソンモデルに基づく精神科看護過程第2版《医歯薬出版株式会社》				
自己学習時間	15時間	事前・事後学習	既習したことを各自復習してから授業に臨む テキストで復習する グループワークは各自で学習してから臨む		